



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 AppBank株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6177 URL http://www.appbank.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 宮下 泰明  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 野村 友総 (TEL) 03-6302-0561  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	893	△22.5	△194	—	△197	—	△266	—
28年12月期第2四半期	1,154	△43.5	△38	—	△70	—	△29	—

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 △266百万円(—%) 28年12月期第2四半期 △29百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	△39.90	—
28年12月期第2四半期	△4.52	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	1,716	808	47.0
28年12月期	2,203	1,062	48.2

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 807百万円 28年12月期 1,060百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日~平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,800	△22.8	△290	—	△310	—	△410	—	△61.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期2Q	6,798,000株	28年12月期	6,798,000株
29年12月期2Q	97,443株	28年12月期	146,643株
29年12月期2Q	6,669,811株	28年12月期2Q	6,598,000株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成29年8月22日(火)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

当日使用する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取りまく経営環境におきまして、当社メディア事業の主たる事業内容であるインターネット広告市場は、拡大基調が継続しております(注1)。ストア事業の主たる商材に影響のあるスマートフォン端末につきましても、出荷台数は伸長しております(注2)。一方でスマートフォンアクセサリ販売の市場環境は、市場の成熟化に伴う製品のコモディティ化が進むとともに、流通チャネルの多様化により競争激化の傾向にあります。

このような環境の下、当連結会計年度を業績回復の転換期と位置付け、上期において損失を圧縮し、下期において利益を確保する業績予想を公表しておりましたが、メディア事業においては主に広告売上が伸び悩んだこと、ストア事業においてはEコマースサイト、実店舗ともに販売減となるなど、前期実績を下回る低調な業績となりました。

また、経費につきましても、役員報酬など販売管理費の削減に努めたものの、コンプライアンス関連費用及び商標権取得費用、アプリの開発費の発生などにより、支出額の圧縮は限定的なものにとどまりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高893,938千円(前年同期比22.5%減)、営業損失194,956千円(前年同期は営業損失38,343千円)、経常損失197,701千円(前年同期は経常損失70,924千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失266,096千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失29,797千円)となりました。

(注1) 出所：経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」(2017年5月確報版)

(注2) 出所：一般社団法人電子情報技術産業協会統計資料

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

各セグメントの業績数値にはセグメント間の内部取引高を含んでおります。

#### (メディア事業)

「AppBank.net」はアプリやサービスを日々紹介し、「パズドラ究極攻略」、「モンスター攻略」といった攻略サイトとともに、多くの閲覧者数を得ております。6月にはスマートフォンゲームアプリ「ココソリティア」をリリース、「麻雀ツモツモ」は5月に人気漫画とのコラボイベントを実施いたしました。また漫画アプリ「漫画プロジェクト」は、情報配信サイト「Denesy-デネシー」オープンに伴い、7月末をもって終了いたしました。

動画配信の分野では、「YouTube」において「マックスむらい」をはじめとする人気チャンネルでゲーム実況、ロケ動画、商品紹介など様々なコンテンツを公開しております。「niconico」では、専用チャンネル「マックスむらい部」が3周年を迎えました。6月には人気コンテンツの出張版として、「マックスむらいの『パズドラやろうぜ!』24コンボ目～湯けむり出張版～」を長野県信州・渋温泉「渋ホテル」において行い、当地の方を含む多くの方にお楽しみいただきました。また、ゴルフに特化した新感覚メディア「ringolf」は、順調に推移しております。

イベントでは、4月に「ニコニコ超会議2017」に「激闘!スマホゲームブースby AppBank」を出展いたしました。

営業面では、純広告収入は「GAME CONNECT」による収入増加が期待値には至らず、広告プラットフォーム事業につきましても、動画広告配信アドネットワーク「AppBank Network」「AppBank Video Network」においてアプリ開発者向けキャンペーンを実施したものの、アプリバナー広告の単価が低下傾向にあることから減収となりました。また、新事業「マーケティング支援」は、成果顕在化は6月以降であり、当第2四半期連結累計期間の業績を押し上げるには至りませんでした。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は399,708千円(前年同期比14.0%減)、セグメント損失は145,640千円(前年同期はセグメント損失29,992千円)となりました。

#### (ストア事業)

スマートフォンアクセサリ販売事業は、市場の拡大が一段落し飽和状況にあることに加えて、専門店以外の様々なチャネルでの取り扱いなど、競争は激化の傾向にあります。そのような環境の下、当社メディアとの連動強化を通じた独自性・優位性確保とともに、モバイル保険やiPhone修理事業などのサービスを通じて、スマホユ

ーザーのライフスタイルをより豊かにする商品とサービスの提供に努めました。

店舗事業では、市場環境を鑑み、5月に「与野店」を閉店いたしました。加えて、事業採算性改善のため「ららぽーと新三郷店」、「ららぽーと立川立飛店」、「池袋PARCO店」を7月に閉店いたしました。これにより、「AppBank Store」常設店舗数は、7月末現在で9店舗となっております。iPhone修理店「Sma-cle」につきましては、7月末現在で常設店3店舗にインショップ展開の2店舗を加えた5店舗でサービスを提供しております。

営業面では、コラボレーション商品や旅行グッズ、バランススクーターなどスマートフォンアクセサリ以外の商品拡充などを通じて収益確保に努めましたが、実店舗及びEコマースサイトともに減収減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は514,511千円（前年同期比27.6%減）、セグメント損失は56,756千円（前年同期はセグメント損失18,190千円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,716,550千円となり、前連結会計年度末に比べ486,661千円減少いたしました。これは主に、「現金及び預金」が259,790千円減少、「売掛金」が91,458千円減少、「未収還付法人税等」が123,344千円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は907,599千円となり、前連結会計年度末に比べ233,064千円減少いたしました。これは主に、「1年内返済予定の長期借入金」が75,549千円減少、「長期借入金」が106,946千円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は808,950千円となり、前連結会計年度末に比べ253,597千円減少いたしました。これは主に、「親会社株主に帰属する四半期純損失」を266,096千円計上したことによるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、営業活動による支出が6,274千円、投資活動による収入が154,653千円、財務活動による支出が169,970千円となった結果、前連結会計年度末から21,590千円減少し、1,144,955千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果支出した資金は6,274千円（前年同期は311,472千円の支出）となりました。主な要因といたしましては、税金等調整前四半期純損失250,378千円の計上があったものの、売上債権の減少91,458千円、法人税等の還付額122,649千円があったことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は154,653千円（前年同期は235,332千円の支出）となりました。主な要因といたしましては、定期預金の払戻による収入258,200千円があったことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は169,970千円（前年同期は81,856千円の収入）となりました。主な要因といたしましては、長期借入金の返済による支出182,495千円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ平成29年2月14日に公表いたしました業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日公表の「平成29年12月期第2四半期（累計）連結業績予想と実績値の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,464,745	1,204,955
売掛金	218,127	126,669
商品	79,225	91,981
原材料及び貯蔵品	2,355	5,517
未収還付法人税等	134,497	11,152
その他	58,960	24,817
流動資産合計	1,957,911	1,465,093
固定資産		
有形固定資産	65,300	35,676
無形固定資産	3,054	22,966
投資その他の資産		
投資有価証券	80,112	130,224
長期未収入金	148,691	148,691
その他	96,832	62,589
貸倒引当金	△148,691	△148,691
投資その他の資産合計	176,945	192,813
固定資産合計	245,300	251,457
資産合計	2,203,212	1,716,550
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	123,711	99,929
1年内返済予定の長期借入金	301,910	226,361
資産除去債務	—	16,583
未払法人税等	1,489	1,404
その他	155,381	132,682
流動負債合計	582,492	476,961
固定負債		
長期借入金	528,951	422,005
資産除去債務	29,221	6,788
その他	—	1,845
固定負債合計	558,172	430,638
負債合計	1,140,664	907,599
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	99,850	99,850
資本剰余金	300,576	311,141
利益剰余金	666,230	400,134
自己株式	△5,753	△3,787
株主資本合計	1,060,903	807,337
新株予約権	1,643	1,612
純資産合計	1,062,547	808,950
負債純資産合計	2,203,212	1,716,550

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,154,183	893,938
売上原価	704,723	609,549
売上総利益	449,460	284,389
販売費及び一般管理費	487,803	479,345
営業損失(△)	△38,343	△194,956
営業外収益		
受取利息	155	228
為替差益	1,635	—
役員報酬返納額	2,220	—
還付加算金	—	1,398
雑収入	1,024	311
営業外収益合計	5,035	1,938
営業外費用		
支払利息	5,031	3,732
過年度決算訂正関連費用	32,188	—
雑損失	397	951
営業外費用合計	37,616	4,683
経常損失(△)	△70,924	△197,701
特別利益		
新株予約権戻入益	118	25
特別利益合計	118	25
特別損失		
賃貸借契約解約損	—	23,796
減損損失	19,179	28,904
固定資産除却損	956	—
特別損失合計	20,135	52,701
税金等調整前四半期純損失(△)	△90,941	△250,378
法人税、住民税及び事業税	1,344	1,496
過年度法人税等	△18,738	—
法人税等調整額	△43,749	14,222
法人税等合計	△61,143	15,718
四半期純損失(△)	△29,797	△266,096
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△29,797	△266,096

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△29,797	△266,096
四半期包括利益	△29,797	△266,096
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,797	△266,096
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△90,941	△250,378
減価償却費	12,239	9,874
減損損失	19,179	28,904
賃貸借契約解約損	—	23,796
受取利息及び受取配当金	△155	△228
支払利息	5,031	3,732
固定資産除却損	956	—
役員報酬返納額	△2,220	—
過年度決算訂正関連費用	32,188	—
新株予約権戻入益	△118	△25
売上債権の増減額(△は増加)	115,502	91,458
たな卸資産の増減額(△は増加)	12,932	△15,918
仕入債務の増減額(△は減少)	△60,949	△23,781
未払金の増減額(△は減少)	△26,617	24,633
未払費用の増減額(△は減少)	△35,609	△26,188
前受金の増減額(△は減少)	8,640	△2,700
その他	△81,725	12,314
小計	△91,667	△124,505
利息及び配当金の受取額	155	228
利息の支払額	△4,997	△3,852
役員報酬返納の受取額	2,220	—
過年度決算訂正関連費用の支払額	△31,158	—
法人税等の支払額	△203,914	△794
法人税等の還付額	17,890	122,649
営業活動によるキャッシュ・フロー	△311,472	△6,274
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△17,797	△11,026
無形固定資産の取得による支出	△1,260	△21,142
敷金及び保証金の回収による収入	21,150	—
敷金保証金の差入による支出	△14,225	△1,265
投資有価証券の取得による支出	—	△50,112
定期預金の預入による支出	△283,200	△20,000
定期預金の払戻による収入	60,000	258,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△235,332	154,653
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△218,144	△182,495
自己株式の売却による収入	—	12,525
財務活動によるキャッシュ・フロー	81,856	△169,970
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△464,949	△21,590
現金及び現金同等物の期首残高	1,960,935	1,166,545
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,495,985	1,144,955

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準摘要指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア事業	ストア事業			
売上高					
外部顧客への売上高	456,285	697,898	1,154,183	—	1,154,183
セグメント間の内部売上 高又は振替高	8,331	12,763	21,094	△21,094	—
計	464,616	710,661	1,175,278	△21,094	1,154,183
セグメント損失(△)	△29,992	△18,190	△48,183	9,840	△38,343

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額9,840千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ストア事業」において、移転に伴い閉店が決定した店舗の固定資産について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては19,179千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア事業	ストア事業			
売上高					
外部顧客への売上高	397,645	496,292	893,938	—	893,938
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,062	18,218	20,281	△20,281	—
計	399,708	514,511	914,220	△20,281	893,938
セグメント損失(△)	△145,640	△56,756	△202,396	7,440	△194,956

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額7,440千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「メディア事業」において、本社移転を決定したことに伴い、本社資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては12,137千円であります。

また、「ストア事業」において、閉店が決定した店舗の固定資産について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては16,767千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。